

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2017年4月21日から、2022年4月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) 次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) の受益証券 ロ) マネープールファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) の受益証券
運用方法	①主として、次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) の受益証券を通じて、米国の金融商品取引所上場株式 (上場予定を含みます。以下同じ。) に投資し、値上がり益の獲得をめざします。 ②次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) では、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると判断した企業の株式に投資を行います。 ③次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行いません。 ④この投資信託は、次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) とマネープールファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、次世代米国代表株ファンド (FOFs) (適格機関投資家限定) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ. およびロ. に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ. 計算期末の前営業日の基準価額 (1万口当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。) が10,500円未満の場合、原則として、配当等収益の水準を考慮して決定した額を分配することをめざします。 ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に並び、下記の金額 (1万口当り。) を分配することをめざします。 a. 10,500円以上11,000円未満の場合…300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合…350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合…400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合…450円 e. 12,500円以上の場合 ……………500円 なお、計算期末の直前から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわない場合があります。

YMアセット・ 優良米国株ファンド

運用報告書 (全体版)

第13期 (決算日 2020年7月20日)
第14期 (決算日 2020年10月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・優良米国株ファンド 愛称：トリプル維新 (プレミアム合衆国)」は、このたび、第14期の決算を行ないました。

ここに、第13期、第14期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



Yamaguchi
Financial Group

ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124
(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.yamaguchi.co.jp/>

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		投資信託 資産 証書 比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 入金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率		
	円	円	%		%	%	百万円
第5期末 (2018年7月20日)	10,987	350	7.5	12,770	6.8	98.5	4,277
第6期末 (2018年10月22日)	10,493	300	△ 1.8	12,816	0.4	98.4	3,305
第7期末 (2019年1月21日)	9,618	10	△ 8.2	11,981	△ 6.5	99.0	3,210
第8期末 (2019年4月22日)	10,406	300	11.3	13,370	11.6	98.5	3,069
第9期末 (2019年7月22日)	10,239	10	△ 1.5	13,158	△ 1.6	96.2	2,782
第10期末 (2019年10月21日)	10,304	10	0.7	13,204	0.3	97.3	2,913
第11期末 (2020年1月20日)	10,925	350	9.4	14,527	10.0	98.6	2,996
第12期末 (2020年4月20日)	8,780	10	△ 19.5	11,418	△ 21.4	99.0	2,542
第13期末 (2020年7月20日)	9,836	10	12.1	12,890	12.9	99.0	2,923
第14期末 (2020年10月20日)	10,487	300	9.7	13,550	5.1	99.0	3,662

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (ダウ工業株30種) とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY (ニューヨーク) ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

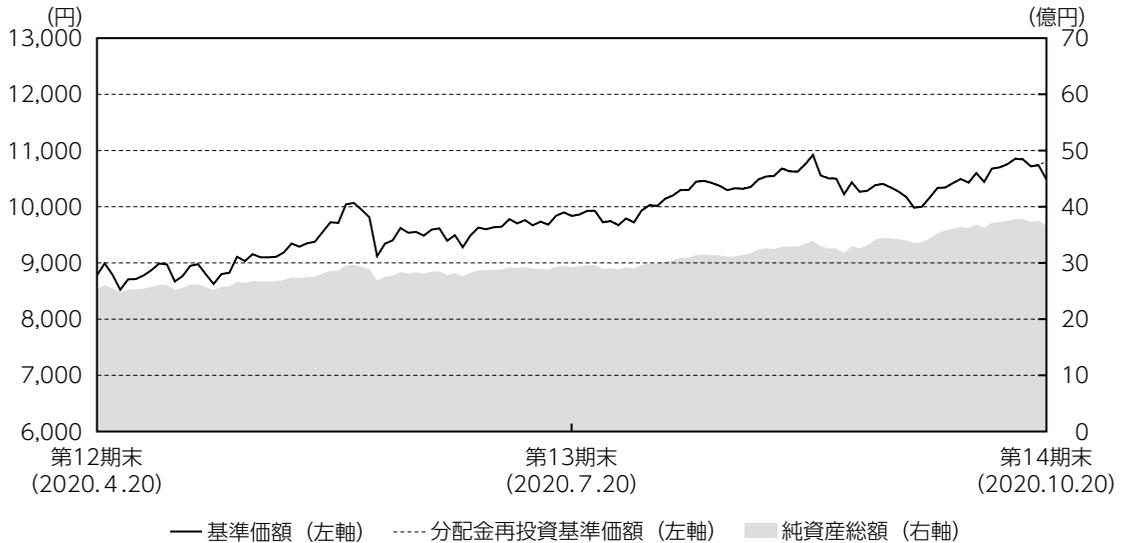
当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		ダウ・ジョーンズ工業 株価平均 (円換算ベース)		投 資 信 託 受 組 入 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第13期	(期 首) 2020年 4月20日	円 8,780	% -	11,418	% -	% 99.0
	4 月末	8,870	1.0	11,638	1.9	99.0
	5 月末	9,345	6.4	12,391	8.5	99.0
	6 月末	9,279	5.7	12,056	5.6	99.0
	(期 末) 2020年 7月20日	9,846	12.1	12,890	12.9	99.0
第14期	(期 首) 2020年 7月20日	9,836	-	12,890	-	99.0
	7 月末	9,791	△ 0.5	12,534	△ 2.8	99.0
	8 月末	10,680	8.6	13,658	6.0	99.1
	9 月末	10,334	5.1	13,060	1.3	99.0
	(期 末) 2020年10月20日	10,787	9.7	13,550	5.1	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

運用経過

基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第13期首：8,780円

第14期末：10,487円 (既払分配金310円)

騰落率：23.0% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

当作成期において、基準価額は19.4%の上昇、分配金再投資基準価額は23.0%の上昇となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

投資環境について

○米国株式市況

- ・ 当作成期の米国株式市況は上昇しました。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気減速が引き続き懸念されるところとなりましたが、トランプ米大統領が経済活動再開指針を公表したことや、米国において追加の経済対策が成立したことなどが景気回復への期待を高め、当作成期首より市況は上昇基調となりました。また、米連邦準備制度理事会（FRB）が総額約2.3兆ドルの資金供給策を公表したことも市況への追い風となりました。その後、市況は、短期的な調整局面を何度か経つつも、概ね上昇基調にて推移する展開となりました。2020年9月に入り、再び調整する局面もありましたが、上昇にて当作成期を終えています。

○為替市況

- ・ 当作成期首に比べ、2.4%の円高・米ドル安となりました。米国の金融政策がより緩和傾向を強めたことが背景となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

- ・ 当ファンドは、次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）とマネープールファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、次世代米国代表株ファンド（FOFs）（適格機関投資家限定）の受益証券を高位に組み入れました。

○次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）

- ・ 基準価額は当作成期首に比べ23.9%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。
- ・ 米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。
- ・ 主として米国の強みであるインターネット、バイオ、医療機器などの重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目し、同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
- ・ 当作成期首においては、新型コロナウイルスの感染拡大が景気と企業業績に及ぼす悪影響の程度に関して、判断が難しい状況にありました。しかしながら、中長期的には、業績拡大余地を伴う成長企業が投資対象として有望との見方を維持し、優良成長株に重きをおいた投資を行いました。株式市況は急速な戻り基調となりましたが、期待先行で成長株中心に上昇している面もあり、2020年6月には成長株の割高感などから更なる上値は重いと判断するに至りました。これに対応し、株価の出遅れ感が強く、かつ景気回復への業績感応度が高い銘柄を一部組み入れるなど、よりバランスのとれたポートフォリオの構築を意識し、当作成期末をむかえています。また、8月末のダウ工業株30種採用銘柄の入れ替えに対応した銘柄入替も行っています。
- ・ 株価水準面での割安感にも留意し、銘柄選定を行いました。
- ・ 適宜銘柄の見直しを行った結果、当作成期首と当作成期末では、10銘柄が入れ替わりました。
- ・ また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。
- ・ 優良成長企業ながら、成長性がほぼ株価に織り込まれたと判断した「INTUIT INC」や「NIKE INC - CL B」などの売却を行う一方で、情報技術業種の中でも特に高い成長が期待される情報技術管理ソフトウェアの「SERVICENOW INC」や税金関連のソフトウェアを提供する「AVALARA INC」、さらには景気回復時には業績拡大が期待される一般消費財・サービスの「FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES NV」などを組み入れました。

○マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）

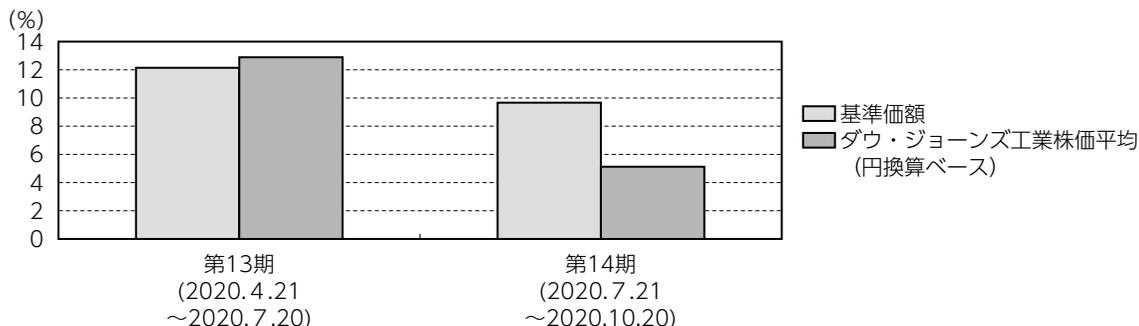
- ・ コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第13期10円、第14期300円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第13期	第14期
	2020年4月21日 ~2020年7月20日	2020年7月21日 ~2020年10月20日
当期分配金（税込み）（円）	10	300
対基準価額比率（%）	0.10	2.78
当期の収益（円）	10	136
当期の収益以外（円）	—	163
翌期繰越分配対象額（円）	869	715

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第13期	第14期
(a) 経費控除後の配当等収益	30.22円	74.27円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	62.53
(c) 収益調整金	371.50	479.09
(d) 分配準備積立金	477.88	399.46
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	879.60	1,015.35
(f) 分配金	10.00	300.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	869.60	715.35

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

○当ファンド

- ・次世代米国代表株ファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○次世代米国代表株ファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）

- ・米国特有の大きなイノベーションが起こっている分野に注目し、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。足元、新型コロナウイルスの感染拡大により、企業業績の成長力の鈍化が懸念されるところとなっていますが、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えられます。現在は、米国の強みでもあるインターネット、医療機器等の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しています。医療機器分野は、ロボット手術の普及や新しい治療機器が従来の医療に革新的な変化をもたらしつつあり、今後の成長が期待されます。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配り、より高い投資成果の達成をめざします。
- ・過去数十年の米国株式市況上昇を支えた経済規模の大きさと成長力、巨大な個人消費市場の存在、さらには活発なイノベーションと新陳代謝が盛んな経済構造等は今後も市況上昇の要因になると思われます。
- ・2020年3月下旬以降、株式市況は急速な戻り基調となりましたが、期待先行で上昇している面もあり、現行水準からの上値は重いと考えます。新型コロナウイルス感染一巡や、ワクチン実用化への動きが景気回復期待を支援する中、景気や企業業績が期待通りに回復するかが今後の注目点になると思われます。一方で、主要国の政府と中央銀行が、景気の落ち込みを防ぐため、財政政策や金融政策を総動員する姿勢を示していることは、引き続き株式市況の下支え要因になると思われます。上値は重いものの、財政、金融の両面からの政策に支えられ、下値もまた限定的と思われる。

○マネープールファンド（FOF s用）（適格機関投資家限定）

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第13期～第14期		項 目 の 概 要
	(2020年4月21日～2020年10月20日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	47円	0.482%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は9,835円です。
（投信会社）	(19)	(0.193)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(27)	(0.276)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	48	0.488	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

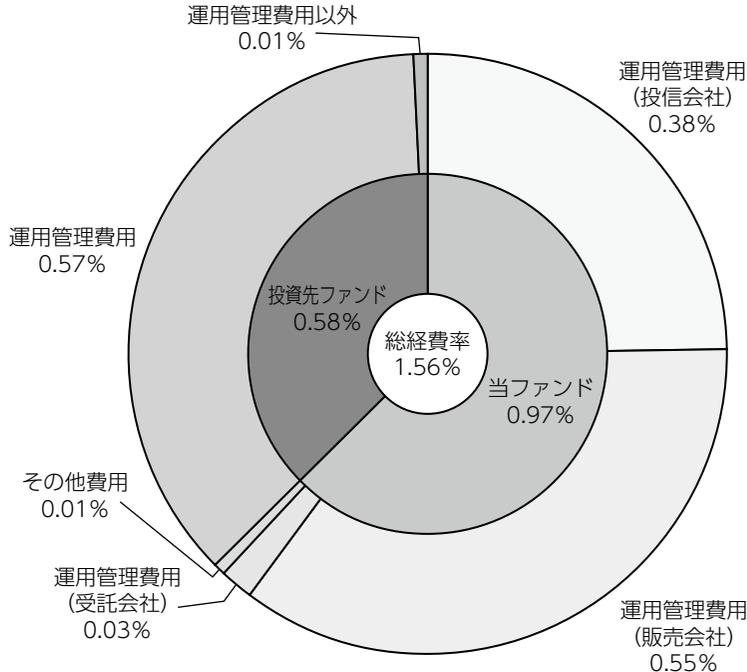
(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

参考情報

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.56%です。



総経費率 (①+②+③)	1.56%
①当ファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年4月21日から2020年10月20日まで)

決算期		第13期～第14期			
		買付		売付	
		□数	金額	□数	金額
国内	マネーパール ファンド(FOFs 用)(適格機関投 資家限定)	千口	千円	千口	千円
	-	-	-	-	
	次世代米国代表 株ファンド (FOFs用)(適格 機関投資家限定)	571,772.237	731,000	170,025.339	222,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第13期～第14期)中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
国内投資信託受益証券

銘柄	第14期末		比率
	□数	評価額	
マネーパールファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	千口 99.691	千円 99	% 0.0
次世代米国代表株ファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	2,683,895.961	3,627,017	99.0
合計	金 額 銘柄数 < 比率 >	2,683,995.652 2銘柄	3,627,116 < 99.0% >

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年10月20日現在

項目	第14期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 3,627,116	% 95.8
コール・ローン等、その他	158,115	4.2
投資信託財産総額	3,785,232	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年7月20日)、(2020年10月20日)現在

項目	第13期末	第14期末
(A) 資産	2,937,319,953円	3,785,232,847円
コール・ローン等	34,992,957	52,115,966
投資信託受益証券(評価額)	2,895,326,996	3,627,116,881
未収入金	7,000,000	106,000,000
(B) 負債	13,792,791	122,412,240
未払収益分配金	2,972,422	104,781,963
未払解約金	4,178,373	9,568,757
未払信託報酬	6,566,993	7,970,469
その他未払費用	75,003	91,051
(C) 純資産総額(A-B)	2,923,527,162	3,662,820,607
元本	2,972,422,056	3,492,732,113
次期繰越損益金	△ 48,894,894	170,088,494
(D) 受益権総口数	2,972,422,056□	3,492,732,113□
1万口当り基準価額(C/D)	9,836円	10,487円

(注) 元本状況

期首元本額	2,896,196,900円	2,972,422,056円
追加設定元本額	139,980,386円	706,303,680円
一部解約元本額	63,755,230円	185,993,623円

■損益の状況

第13期 自2020年4月21日 至2020年7月20日
第14期 自2020年7月21日 至2020年10月20日

項目	第13期	第14期
(A) 配当等収益	9,175,715円	26,646,222円
受取配当金	9,180,316	26,652,280
受取利息	5	81
支払利息	△ 4,606	△ 6,139
(B) 有価証券売買損益	306,810,262	278,008,785
売買益	311,582,054	288,815,496
売買損	△ 4,771,792	△ 10,806,711
(C) 信託報酬等	△ 6,641,996	△ 8,061,520
(D) 当期損益金(A+B+C)	309,343,981	296,593,487
(E) 前期繰越損益金	△ 422,355,012	△ 109,295,065
(F) 追加信託差損益金	67,088,559	87,572,035
(配当等相当額)	(110,425,146)	(167,335,043)
(売買損益相当額)	(△ 43,336,587)	(△ 79,763,008)
(G) 合計(D+E+F)	△ 45,922,472	274,870,457
(H) 収益分配金	△ 2,972,422	△ 104,781,963
次期繰越損益金(G+H)	△ 48,894,894	170,088,494
追加信託差損益金	67,088,559	87,572,035
(配当等相当額)	(110,425,146)	(167,335,043)
(売買損益相当額)	(△ 43,336,587)	(△ 79,763,008)
分配準備積立金	148,056,088	82,516,459
繰越損益金	△ 264,039,541	-

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第 13 期	第 14 期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,983,097円	25,940,839円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	21,839,405円
(c) 収益調整金	110,425,146円	167,335,043円
(d) 分配準備積立金	142,045,413円	139,518,178円
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	261,453,656円	354,633,465円
(f) 1万口当たり当期分配対象額	879.60円	1,015.35円
(g) 分配金	2,972,422円	104,781,963円
(h) 1万口当たり分配金	10円	300円

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 13 期	第 14 期
一万口当たり分配金（税引前）	10円	300円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

お知らせ

- 該当事項はありません。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2023年3月7日まで（2017年4月20日設定）	
運用方針	次世代米国代表株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託者が判断した企業の株式に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビードファンド	次世代米国代表株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビードファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告に係わる情報

次世代米国代表株ファンド（FOFs用） （適格機関投資家限定）



第13期（決算日：2020年6月8日）

第14期（決算日：2020年9月7日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）」は、去る9月7日に第14期の決算を行いましたので、法令に基づいて第13期～第14期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数） ダウ・ジョーンズ工業株価平均		株式 組入比率	株式 先物比率	純資 産額
	（分配落）	税 込 分 配	み 期 金 騰	中 期 率 落	（円換算ベース）			
	円	円	%		%	%	%	百万円
5期(2018年6月7日)	12,469	70	7.4	17,586	5.4	97.8	—	3,964
6期(2018年9月7日)	12,748	100	3.0	18,238	3.7	97.4	—	3,809
7期(2018年12月7日)	11,967	20	△ 6.0	17,864	△ 2.1	95.0	—	3,299
8期(2019年3月7日)	12,113	70	1.8	18,201	1.9	97.8	—	3,196
9期(2019年6月7日)	11,892	20	△ 1.7	17,720	△ 2.6	96.3	—	2,782
10期(2019年9月9日)	12,312	40	3.9	18,195	2.7	94.9	—	2,700
11期(2019年12月9日)	12,932	120	6.0	19,315	6.2	96.4	—	2,911
12期(2020年3月9日)	11,326	10	△12.3	16,751	△13.3	97.0	—	2,477
13期(2020年6月8日)	12,612	40	11.7	18,843	12.5	98.5	—	2,918
14期(2020年9月7日)	13,135	110	5.0	18,997	0.8	98.6	—	3,220

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均（ダウ工業株30種）とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY（ニューヨーク）ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース）は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		（ 参 考 指 数 ） ダウ・ジョーンズ工業株価平均 （円換算ベース）		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第13期	(期 首) 2020年3月9日	円 11,326	% -	16,751	% -	% 97.0	% -
	3月末	10,415	△ 8.0	15,426	△ 7.9	94.7	-
	4月末	11,301	△ 0.2	16,713	△ 0.2	95.6	-
	5月末	11,691	3.2	17,340	3.5	95.3	-
	(期 末) 2020年6月8日	12,652	11.7	18,843	12.5	98.5	-
第14期	(期 首) 2020年6月8日	12,612	-	18,843	-	98.5	-
	6月末	11,920	△ 5.5	17,508	△ 7.1	95.5	-
	7月末	12,234	△ 3.0	17,474	△ 7.3	94.6	-
	8月末	13,405	6.3	19,166	1.7	93.0	-
	(期 末) 2020年9月7日	13,245	5.0	18,997	0.8	98.6	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

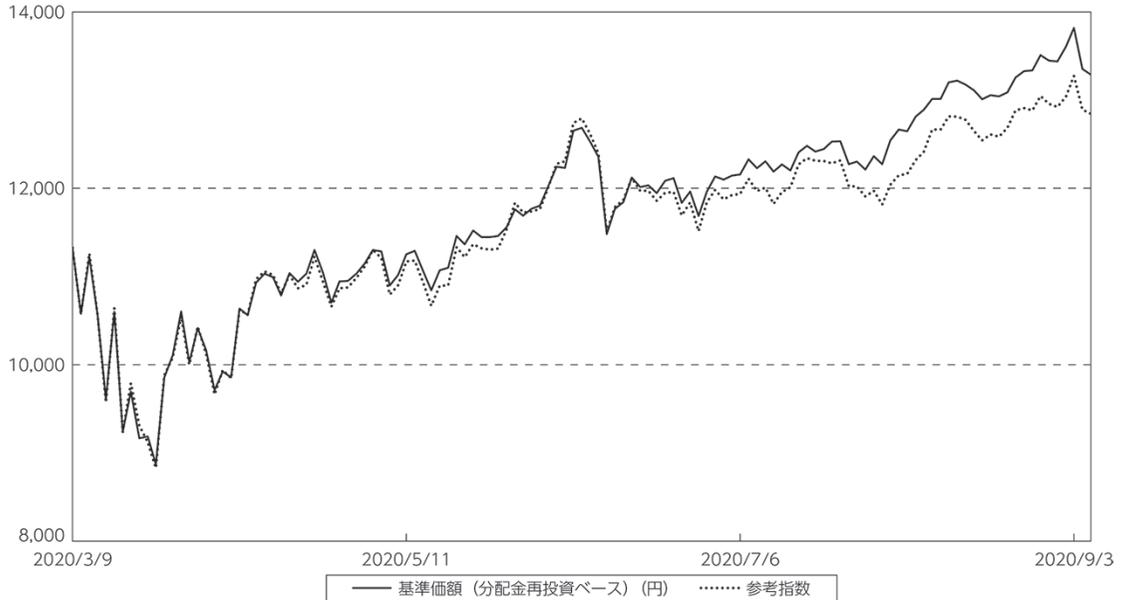
○運用経過

●当作成期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ17.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は当作成期首の値をファンド基準価額（分配金再投資ベース）と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

（上昇要因）

米国株式市況全体の上昇や組入銘柄（APPLE INC など）の値上がり、加えて米ドルが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

当作成期首より2020年3月下旬にかけて、市況は新型コロナウイルスの感染拡大により世界的な景気減速が懸念され、大幅下落となりました。しかしながら、トランプ米大統領が経済活動再開指針を公表したことや、米国において追加の経済対策が成立したことなどが景気回復への期待を高め、市況は反発に転じました。また、米連邦準備制度理事会（FRB）が総額約2.3兆ドルの資金供給策を公表したことも市況への追い風となりました。その後、市況は、短期的な調整局面を何度か経つつも、概ね上昇基調にて推移する展開となりました。9月に入り、再び調整する局面もありましたが、上昇にて当作成期を終えています。

◎為替市況

当作成期首に比べ、4.3%の円安・米ドル高となりました。リスク回避傾向の緩和が進み、米ドル高となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

＜次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）＞

次世代米国代表株マザーファンド受益証券を通じて米国株式に投資を行いました。

＜次世代米国代表株マザーファンド＞

米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりま

した。

主として米国の強みであるインターネット、バイオ、医療機器などの重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目し、同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。

当作成期首においては、新型コロナウイルスの感染拡大が景気と企業業績に及ぼす悪影響の程度に関して、判断が難しい状況にありました。しかしながら、中長期的には、業績拡大余地を伴う成長企業が投資対象として有望との見方を維持し、優良成長株に重きをおいた投資を行いました。株式市況は急速な戻り基調となりましたが、期待先行で成長株中心に上昇している面もあり、2020年6月には成長株の割高感などから更なる上値は重いと判断するに至りました。これに対応し、株価の出遅れ感が強く、かつ景気回復への業績感応度が高い銘柄を一部組み入れるなど、よりバランスのとれたポートフォリオの構築を意識し、当作成期末をむかえています。また、8月末のダウ工業株30種採用銘柄の入れ替えに対応した銘柄入替も行っていきます。

株価水準面での割安感にも留意し、銘柄選定を行いました。

適宜銘柄の見直しを行った結果、当作成期首と当作成期末では、10銘柄が入れ替わりました。

また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。

優良成長企業ながら、成長性がほぼ株価に織り込まれたと判断した「INTUIT INC」や新型コロナウイルス感染拡大による飲食店の閉鎖により運営する食品卸事業が影響を受けると予想された「SYSCO CORP」などの売却を行う一方で、情報技術業種の中でも特に高い成長が期待される情報技術管理ソフトウェアの「SERVICENOW INC」や税金関連のソフトウェアを提供する「AVALARA INC」、さらには景気回復時には業績拡大が期待される一般消費財・サービスの「FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES

NV」などを組み入れました。

●分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第13期	第14期
	2020年3月10日～ 2020年6月8日	2020年6月9日～ 2020年9月7日
当期分配金	40	110
（対基準価額比率）	0.316%	0.831%
当期の収益	40	91
当期の収益以外	—	18
翌期繰越分配対象額	2,611	3,135

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

<次世代米国代表株マザーファンド>

米国特有の大きなイノベーションが起こっている分野に注目し、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。足元、新型コロナウイルスの感染拡大により、企業業績の成長力の鈍化が懸念されるようになっていますが、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えられます。現在は、米国の強みでもあるインターネット、医療機器等の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しています。医療機器分野は、ロボット手術の普及や新しい治療機器が従来の医療に革新的な変化をもたらしつつあり、今後の成長が期待されます。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配り、より高い投資成果の達成をめざします。

過去数十年の米国株式市況上昇を支えた経済規模の大きさと成長力、巨大な個人消費市場の存在、さらには活発なイノベーションと新陳代謝が盛んな経済構造等は今後も市況上昇の要因になると思われます。

2020年3月下旬以降、株式市況は急速な戻り基調となりましたが、期待先行で上昇している面もあり、現行水準からの上値は重いと考えます。新型コロナウイルス感染一巡や、ワクチン実用化への動きが景気回復期待を支援する中、景気や企業業績が期待通りに回復するかが今後の注目点となると思われます。一方で、主要国の政府と中央銀行が、景気の落ち込みを防ぐため、財政政策や金融政策を総動員する姿勢を示していることは、引き続き株式市況の下支え要因になると思われます。上値は重いものの、財政、金融の両面からの政策に支えられ、下値もまた限定的と思われます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2020年3月10日～2020年9月7日）

項 目	第13期～第14期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 34 (32) (0) (2)	% 0.287 (0.274) (0.001) (0.013)	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	17 (17)	0.148 (0.148)	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0) (0)	0.006 (0.004) (0.002) (0.000)	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	52	0.443	
作成期中の平均基準価額は、11,713円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2020年3月10日～2020年9月7日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第13期～第14期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
次世代米国代表株マザーファンド	147,386	303,760	17,367	39,020

○株式売買比率

（2020年3月10日～2020年9月7日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第13期～第14期	
	次世代米国代表株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	61,758,433千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	38,986,877千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.58	

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2020年3月10日～2020年9月7日）

利害関係人との取引状況

<次世代米国代表株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

該当事項はございません。

<次世代米国代表株マザーファンド>

区 分	第13期～第14期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 3,110	百万円 1,650	% 53.1	百万円 9,157	百万円 7,421	% 81.0

平均保有割合 6.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年9月7日現在)

親投資信託残高

銘柄	第12期末	第14期末	
	口数	口数	評価額
次世代米国代表株マザーファンド	1,236,096	1,366,114	3,201,898

○投資信託財産の構成

(2020年9月7日現在)

項目	第14期末	
	評価額	比率
次世代米国代表株マザーファンド	3,201,898	98.5%
コール・ローン等、その他	49,533	1.5%
投資信託財産総額	3,251,431	100.0%

(注) 次世代米国代表株マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(43,764,988千円)の投資信託財産総額(44,565,253千円)に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=106.36円		
-----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第13期末	第14期末
	2020年6月8日現在	2020年9月7日現在
(A) 資産	2,931,416,132	3,251,431,141
コール・ローン等	23,884,715	49,532,248
次世代米国代表株マザーファンド(評価額)	2,907,531,417	3,201,898,893
(B) 負債	12,840,295	31,245,198
未払収益分配金	9,256,621	26,966,656
未払信託報酬	3,561,277	4,251,759
未払利息	42	91
その他未払費用	22,355	26,692
(C) 純資産総額(A-B)	2,918,575,837	3,220,185,943
元本	2,314,155,380	2,451,514,241
次期繰越損益金	604,420,457	768,671,702
(D) 受益権総口数	2,314,155,380口	2,451,514,241口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,612円	13,135円

○損益の状況

項 目	第13期		第14期	
	2020年3月10日～ 2020年6月8日		2020年6月9日～ 2020年9月7日	
	円		円	
(A) 配当等収益	△	2,285	△	2,251
受取利息		61		60
支払利息	△	2,346	△	2,311
(B) 有価証券売買損益		321,811,111		155,676,849
売買益		321,805,822		158,050,760
売買損		5,289	△	2,373,911
(C) 信託報酬等	△	3,583,632	△	4,278,451
(D) 当期損益金(A+B+C)		318,225,194		151,396,147
(E) 前期繰越損益金	△	82,870,237		219,763,431
(F) 追加信託差損益金		378,322,121		424,478,780
(配当等相当額)	(311,409,089)	(353,737,594)
(売買損益相当額)	(66,913,032)	(70,741,186)
(G) 計(D+E+F)		613,677,078		795,638,358
(H) 収益分配金	△	9,256,621	△	26,966,656
次期繰越損益金(G+H)		604,420,457		768,671,702
追加信託差損益金		378,322,121		424,478,780
(配当等相当額)	(311,550,270)	(353,991,411)
(売買損益相当額)	(66,771,851)	(70,487,369)
分配準備積立金		271,189,600		344,192,922
繰越損益金	△	45,091,264		—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 2,187,203,294円
 作成期中追加設定元本額 341,985,113円
 作成期中一部解約元本額 77,674,166円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.3135円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年3月10日～ 2020年6月8日	2020年6月9日～ 2020年9月7日
費用控除後の配当等収益額	9,945,265円	9,503,917円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	98,064,352円
収益調整金額	333,230,857円	424,478,780円
分配準備積立金額	270,500,956円	263,591,309円
当ファンドの分配対象収益額	613,677,078円	795,638,358円
1万口当たり収益分配対象額	2,651円	3,245円
1万口当たり分配金額	40円	110円
収益分配金金額	9,256,621円	26,966,656円

○分配金のお知らせ

	第13期	第14期
1万口当たり分配金（税込み）	40円	110円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

次世代米国代表株マザーファンド

《第15期》決算日2020年9月7日

[計算期間：2020年3月10日～2020年9月7日]

「次世代米国代表株マザーファンド」は、9月7日に第15期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社が判断した企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。株式への投資にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、30銘柄程度に投資を行います。株式の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	期中率	期騰落	期中率			
	円	%		%	%	%	百万円
11期(2018年9月7日)	21,753	11.0	18,238	9.3	98.1	—	44,708
12期(2019年3月7日)	20,862	△ 4.1	18,201	△ 0.2	98.4	—	48,004
13期(2019年9月9日)	21,380	2.5	18,195	△ 0.0	95.5	—	45,961
14期(2020年3月9日)	19,903	△ 6.9	16,751	△ 7.9	97.7	—	36,538
15期(2020年9月7日)	23,438	17.8	18,997	13.4	99.1	—	37,679

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(ダウ工業株30種)とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY(ニューヨーク)ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2020年3月9日	円	%		%	%	%
	19,903	—	16,751	—	97.7	—
3月末	18,291	△ 8.1	15,426	△ 7.9	95.6	—
4月末	19,867	△ 0.2	16,713	△ 0.2	96.4	—
5月末	20,571	3.4	17,340	3.5	95.9	—
6月末	21,055	5.8	17,508	4.5	96.1	—
7月末	21,624	8.6	17,474	4.3	95.3	—
8月末	23,721	19.2	19,166	14.4	93.8	—
(期 末) 2020年9月7日						
	23,438	17.8	18,997	13.4	99.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

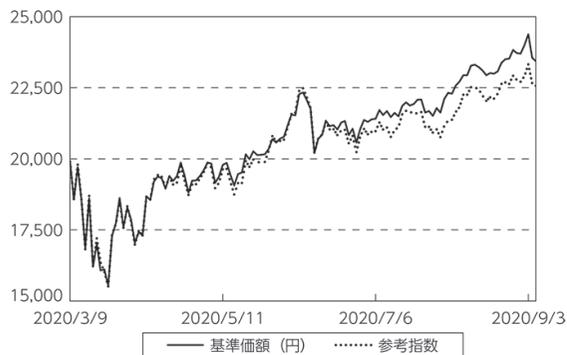
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ17.8%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

米国株式市況全体の上昇や組入銘柄 (APPLE INC など) の値上がり、加えて米ドルが対円で上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

期首より2020年3月下旬にかけて、市況は新型コロナウイルスの感染拡大により世界的な景気減速が懸念され、大幅下落となりました。しかしながら、トランプ米大統領が経済活動再開指針を公表したことや、米国において追加の経済対策が成立したことなどが景気回復への期待を高め、市況は反発に転じました。また、米連邦準備制度理事会 (FRB) が総額約2.3兆ドルの資金供給策を公表したことも市況への追い風となりました。その後、市況は、短期的な調整局面を何度か経つつも、概ね上昇基調にて推移する展開となりました。9月に入り、再び調整する局面もありましたが、上昇にて当期を終えています。

◎為替市況

期首に比べ、4.3%の円安・米ドル高となりました。リスク回避傾向の緩和が進み、米ドル高となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。

主として米国の強みであるインターネット、バイオ、医療機器などの重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目し、同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。

期首においては、新型コロナウイルスの感染拡大が景気と企業業績に及ぼす悪影響の程度に関して、判断が難しい状況にありました。しかしながら、中長期的には、業績拡大余地を伴う成長企業が投資対象として有望との見方を維持し、優良成長株に重きをおいた投資を行いました。株式市況は急速な戻り基調となりましたが、期待先行で成長株中心に上昇している面もあり、2020年6月には成長株の割高感などから更なる上値は重いと判断するに至りました。これに対応し、株価の出遅れ感が強く、かつ景気回復への業績感応度が高い銘柄を一部組み入れるなど、よりバランスのとれたポートフォリオの構築を意識し、期末をむかえています。また、8月末のダウ工業株30種採用銘柄の入れ替えに対応した銘柄入れ替も行っています。

株価水準面での割安感にも留意し、銘柄選定を行いました。

適宜銘柄の見直しを行った結果、期首と期末では、10銘柄が入れ替わりました。

また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。

優良成長企業ながら、成長性がほぼ株価に織り込まれたと判断した「INTUIT INC」や新型コロナウイルス感染拡大による飲食店の閉鎖により運営する食品卸事業が影響を受けると予想された「SYSCO CORP」などの売却を行う一方で、情報技術業種の中でも特に高い成長が期待される情報技術管理ソフトウェアの「SERVICENOW INC」や税金関連のソフトウェアを提供する「AVALARA INC」、さらには景気回復時には業績拡大が期待される一般消費財・サービスの「FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES NV」などを組み入れました。

○今後の運用方針

米国特有の大きなイノベーションが起こっている分野に注目し、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。足元、新型コロナウイルスの感染拡大により、企業業績の成長力の鈍化が懸念されるようになっていますが、イノベーションなどの中長期的な投資テーマに変化はないものと考えられます。現在は、米国の強みでもあるインターネット、医療機器等の重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目しています。医療機器分野は、ロボット手術の普及や新しい治療機器が従来の医療に革新的な変化をもたらしつつあり、今後の成長が期待されます。同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応し続けている優良企業にも目を配り、より高い投資成果の達成をめざします。

過去数十年の米国株式市況上昇を支えた経済規模の大きさと成長力、巨大な個人消費市場の存在、さらには活発なイノベーションと新陳代謝が盛んな経済構造等は今後も市況上昇の要因になると思われれます。

2020年3月下旬以降、株式市況は急速な戻り基調となりましたが、期待先行で上昇している面もあり、現行水準からの上値は重いと考えます。新型コロナウイルス感染一巡や、ワクチン実用化への動きが景気回復期待を支援する中、景気や企業

業績が期待通りに回復するかが今後の注目点となると思われます。一方で、主要国の政府と中央銀行が、景気の落ち込みを防ぐため、財政政策や金融政策を総動員する姿勢を示していることは、引き続き株式市況の下支え要因になると思われます。上値は重いものの、財政、金融の両面からの政策に支えられ、下値もまた限定的と思われます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年3月10日～2020年9月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 30 (30)	% 0.147 (0.147)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.004 (0.004) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	31	0.153	
期中の平均基準価額は、20,652円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2020年3月10日～2020年9月7日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 32,181 (2,397)	千アメリカドル 264,533 (-)	百株 26,794	千アメリカドル 314,186

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2020年3月10日～2020年9月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	61,726,661千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	38,986,877千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.58

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2020年3月10日～2020年9月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 3,110	百万円 1,650	% 53.1	百万円 9,157	百万円 7,421	% 81.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2020年9月7日現在)

外国株式

銘柄	株数	当 期 末			業 種 等
		株数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
AMERICAN EXPRESS CO	1,532	—	—	—	各種金融
BOEING CO/THE	1,005	1,039	17,777	1,890,767	資本財
CATERPILLAR INC	1,287	1,018	15,084	1,604,411	資本財
COCA-COLA CO/THE	1,238	1,935	9,876	1,050,436	食品・飲料・タバコ
CHEVRON CORP	1,231	802	6,572	699,069	エネルギー
CME GROUP INC	500	—	—	—	各種金融
WALT DISNEY CO/THE	1,232	890	11,747	1,249,422	メディア・娯楽
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	—	828	13,801	1,467,973	資本財
HOME DEPOT INC	—	962	25,941	2,759,115	小売
MCDONALD'S CORP	945	—	—	—	消費者サービス
S&P GLOBAL INC	315	240	8,284	881,120	各種金融
MERCK & CO. INC.	1,145	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BANK OF AMERICA CORP	5,250	7,129	18,920	2,012,370	銀行
SYSCO CORP	1,406	—	—	—	食品・生活必需品小売り
RAYTHEON TECHNOLOGIES CORP	1,179	—	—	—	資本財
UNITEDHEALTH GROUP INC	936	833	25,998	2,765,249	ヘルスケア機器・サービス
VULCAN MATERIALS CO	300	316	3,950	420,122	素材
WALMART INC	830	841	12,012	1,277,596	食品・生活必需品小売り
CADENCE DESIGN SYS INC	1,295	633	6,702	712,846	ソフトウェア・サービス
CONAGRA BRANDS INC	—	1,537	5,706	606,983	食品・飲料・タバコ
COSTCO WHOLESALE CORP	152	125	4,343	462,018	食品・生活必需品小売り
NIKE INC -CL B	1,628	—	—	—	耐久消費財・アパレル
AMGEN INC	—	833	20,691	2,200,771	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MICROSOFT CORP	983	1,320	28,296	3,009,585	ソフトウェア・サービス
INTUITIVE SURGICAL INC	125	133	9,779	1,040,118	ヘルスケア機器・サービス
INTUIT INC	183	—	—	—	ソフトウェア・サービス
QUALCOMM INC	1,105	75	869	92,509	半導体・半導体製造装置
AMAZON.COM INC	78	46	15,171	1,613,664	小売
APPLE INC	738	521	6,304	670,591	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COSTAR GROUP INC	53	92	7,607	809,121	商業・専門サービス
DISCOVER FINANCIAL SERVICES	—	1,796	10,258	1,091,120	各種金融
VISA INC-CLASS A SHARES	1,045	899	18,398	1,956,910	ソフトウェア・サービス
FACEBOOK INC-CLASS A	78	—	—	—	メディア・娯楽
SERVICENOW INC	—	259	11,664	1,240,589	ソフトウェア・サービス
DIAMONDBACK ENERGY INC	242	—	—	—	エネルギー
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	504	342	9,241	982,902	ヘルスケア機器・サービス
FIAT CHRYSLER AUTOMOBILES NV	—	7,817	8,825	938,668	自動車・自動車部品
AVALARA INC	—	463	5,712	607,531	ソフトウェア・サービス
TRADEWEB MARKETS INC-CLASS A	—	1,456	7,744	823,701	各種金融

銘	柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカドル	千円	
PINTEREST INC- CLASS A		—	1,147	3,943	419,418	メディア・娯楽
合 計	株 数 ・ 金 額	28,545	36,329	351,228	37,356,708	
	銘 柄 数 < 比 率 >	30	30	—	< 99.1% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2020年9月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	37,356,708	83.8
コール・ローン等、その他	7,208,545	16.2
投資信託財産総額	44,565,253	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(43,764,988千円)の投資信託財産総額(44,565,253千円)に対する比率は98.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=106.36円			
------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年9月7日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	50,865,552,679
コール・ローン等	2,621,171,940
株式(評価額)	37,356,708,965
未収入金	10,821,103,498
未収配当金	66,568,276
(B) 負債	13,185,998,704
未払金	6,435,847,449
未払解約金	6,750,150,000
未払利息	1,255
(C) 純資産総額(A-B)	37,679,553,975
元本	16,076,358,715
次期繰越損益金	21,603,195,260
(D) 受益権総口数	16,076,358,715口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,438円

<注記事項>

- ①期首元本額 18,357,894,861円
 期中追加設定元本額 2,317,519,586円
 期中一部解約元本額 4,599,055,732円
 また、1口当たり純資産額は、期末23,438円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

次世代米国代表株ファンド	13,978,792,696円
次世代米国代表株ファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	1,366,114,384円
次世代米国代表株ファンド(為替ヘッジあり)	674,729,674円
外国株式アクティブファンドセレクション(ラップ専用)	56,721,961円
合計	16,076,358,715円

○損益の状況 (2020年3月10日~2020年9月7日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	283,452,366
受取配当金	283,572,396
受取利息	27,939
支払利息	△ 147,969
(B) 有価証券売買損益	6,979,327,753
売買益	10,633,479,926
売買損	△ 3,654,152,173
(C) 保管費用等	△ 1,813,325
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,260,966,794
(E) 前期繰越損益金	18,180,422,320
(F) 追加信託差損益金	2,142,170,414
(G) 解約差損益金	△ 5,980,364,268
(H) 計(D+E+F+G)	21,603,195,260
次期繰越損益金(H)	21,603,195,260

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限（2010年11月24日設定）	
運用方針	マネー・マーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、わが国の公社債等に実質的な投資を行い、利子等収益の確保を図ります。	
主要運用対象	ベビーフンド	マネー・マーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、わが国の公社債等に直接投資することがあります。
	マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告に係わる情報

マネープールファンド（FOFs用） （適格機関投資家限定）

第19期（決算日：2020年5月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）」は、去る5月20日に第19期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率					
	円		円	%	%	%	%	百万円	
15期(2018年5月21日)	10,027		0	△0.0	—	—	—	10	
16期(2018年11月20日)	10,025		0	△0.0	—	—	—	10	
17期(2019年5月20日)	10,022		0	△0.0	—	—	—	10	
18期(2019年11月20日)	10,020		0	△0.0	—	—	—	210	
19期(2020年5月20日)	10,021		0	0.0	—	—	—	10	

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期首) 2019年11月20日	円 10,020		% —		% —		% —
11月末	10,021		0.0		—		—
12月末	10,020		0.0		—		—
2020年1月末	10,023		0.0		—		—
2月末	10,022		0.0		—		—
3月末	10,021		0.0		—		—
4月末	10,021		0.0		—		—
(期末) 2020年5月20日	10,021		0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

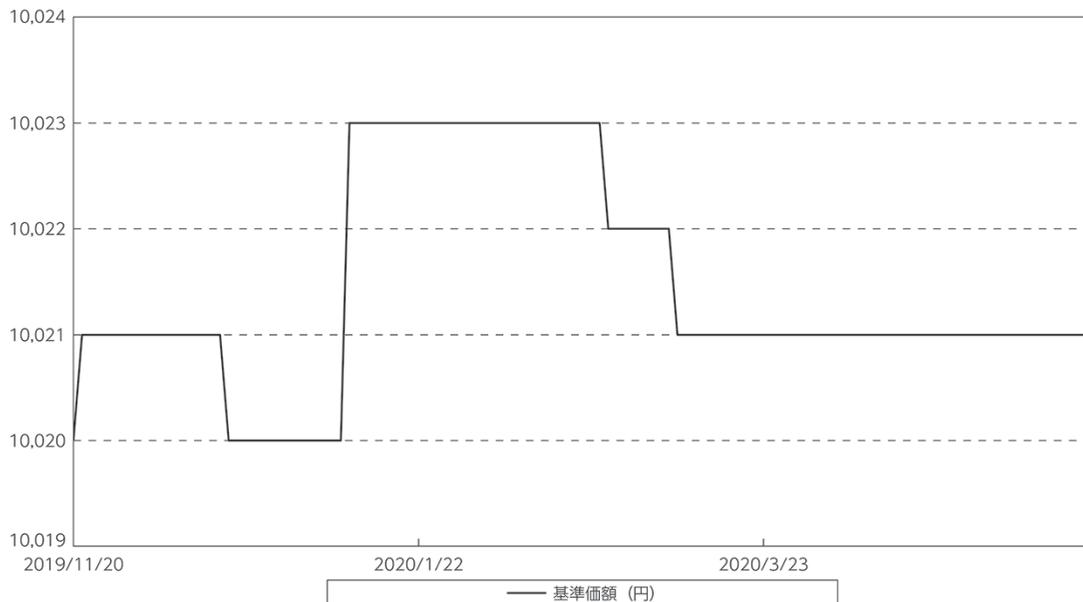
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

大口解約の影響などが基準価額にプラスに寄与しました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2020年5月20日のコール・レート

は-0.061%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて
<マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

・期を通じて、マネー・マーケット・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持しました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

●分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第19期	
	2019年11月21日～ 2020年5月20日	
当期分配金 （対基準価額比率）	—	—%
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	48	

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<マネープールファンド（FOFs用）（適格機関投資家限定）>

- ・マネー・マーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

- ・消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

（2019年11月21日～2020年5月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× （期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(1)	(0.006)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.006)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.006)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
合 計	2	0.017	
期中の平均基準価額は、10,021円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2019年11月21日～2020年5月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 195,945	千円 199,530

○利害関係人との取引状況等

（2019年11月21日～2020年5月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年5月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 205,847	千口 9,902	千円 10,083

○投資信託財産の構成

(2020年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
マネー・マーケット・マザーファンド	千円 10,083	% 99.7
コール・ローン等、その他	31	0.3
投資信託財産総額	10,114	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年5月20日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	10,114,522
コール・ローン等	31,456
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	10,083,039
未収入金	27
(B) 負債	6,229
未払信託報酬	6,229
(C) 純資産総額(A-B)	10,108,293
元本	10,087,378
次期繰越損益金	20,915
(D) 受益権総口数	10,087,378口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,021円

<注記事項>

- ①期首元本額 209,712,461円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 199,625,083円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0021円です。

②分配金の計算過程

項目	2019年11月21日～ 2020年5月20日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	48,844円
分配準備積立金額	2円
当ファンドの分配対象収益額	48,846円
1万口当たり収益分配対象額	48円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金額	－円

○損益の状況（2019年11月21日～2020年5月20日）

項目	当期
	円
(A) 有価証券売買損益	6,577
売買益	△ 3
売買損	6,580
(B) 信託報酬等	△ 6,229
(C) 当期繰越損益金(A+B)	348
(D) 前期繰越損益金	△ 660
(E) 追加信託差損益金	21,227
(配当等相当額)	(48,844)
(売買損益相当額)	(△27,617)
(F) 計(C+D+E)	20,915
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	20,915
追加信託差損益金	21,227
(配当等相当額)	(48,844)
(売買損益相当額)	(△27,617)
分配準備積立金	2
繰越損益金	△ 314

- (注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第31期》決算日2020年5月20日

[計算期間：2019年11月21日～2020年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第31期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第31期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価額		債組 入比	券率 %	債先 物比	券率 %	純資 産額
		騰落	中率					
27期(2018年5月21日)	10,184		0.0		—		—	百万円 1,269
28期(2018年11月20日)	10,183		△0.0		—		—	1,882
29期(2019年5月20日)	10,183		0.0		—		—	1,464
30期(2019年11月20日)	10,183		0.0		—		—	1,636
31期(2020年5月20日)	10,182		△0.0		—		—	1,218

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 円	価額		債組 入比	券率 %	債先 物比	券率 %
		騰落	率				
(期首) 2019年11月20日	10,183		—		—		—
11月末	10,183		0.0		—		—
12月末	10,183		0.0		—		—
2020年1月末	10,183		0.0		—		—
2月末	10,183		0.0		—		—
3月末	10,182		△0.0		—		—
4月末	10,182		△0.0		—		—
(期末) 2020年5月20日	10,182		△0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

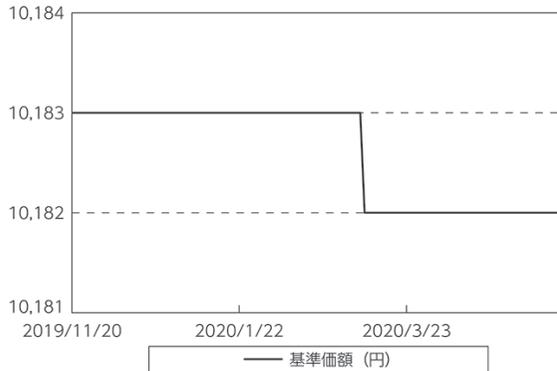
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2020年5月20日のコール・レートは-0.061%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

○今後の運用方針

- ・消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年11月21日～2020年5月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2019年11月21日～2020年5月20日)

その他有価証券	
---------	--

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	コマーシャル・ペーパー	138,499,925	138,899,927

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月21日～2020年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年5月20日現在)

国内その他有価証券	
-----------	--

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コマーシャル・ペーパー	999,999	82.1

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2020年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
その他有価証券	999,999	82.1
コール・ローン等、その他	218,249	17.9
投資信託財産総額	1,218,248	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年5月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	1,218,248,165
コール・ローン等	218,248,275
その他有価証券(評価額)	999,999,890
(B) 負債	648
未払解約金	244
未払利息	404
(C) 純資産総額(A-B)	1,218,247,517
元本	1,196,430,567
次期繰越損益金	21,816,950
(D) 受益権総口数	1,196,430,567口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,182円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,607,027,396円
 期中追加設定元本額 383,379,179円
 期中一部解約元本額 793,976,008円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0182円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ D C金利連動アロケーション型バランスファンド	369,410,948円
MUAMトピックスリスクコントロール(10%)インデックスファンド(FOF s用)(適格機関投資家限定)	185,063,976円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーパブルファンド>	79,936,815円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーパブルファンド>	75,057,997円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーパブルファンドA>	41,587,343円
三菱UFJ ターゲット・イヤール・ファンド2030(確定拠出年金)	40,467,267円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	24,765,135円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	20,075,917円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	16,341,949円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(2回決算型)	15,671,669円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース(為替ヘッジあり)	14,313,901円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)	11,916,657円
ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)	11,784,347円
三菱UFJ /AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	11,293,333円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(年2回決算型)	10,781,250円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース(為替ヘッジなし)	10,766,608円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	10,715,809円
マネーパブルファンド(FOF s用)(適格機関投資家限定)	9,902,808円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,893,887円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	9,828,976円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	9,387,547円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,859,081円
MUAMトピックスリスクコントロール(5%)インデックスファンド(FOF s用)(適格機関投資家限定)	8,806,711円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	8,478,079円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,124,755円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	8,067,104円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	7,196,270円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型)	6,879,079円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	6,643,326円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	6,336,371円

○損益の状況 (2019年11月21日~2020年5月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 25,344
受取利息	4,494
支払利息	△ 29,838
(B) 当期損益金(A)	△ 25,344
(C) 前期繰越損益金	29,362,496
(D) 追加信託差損益金	6,993,681
(E) 解約差損益金	△14,513,883
(F) 計(B+C+D+E)	21,816,950
次期繰越損益金(F)	21,816,950

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ /AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	5,899,118円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型)	5,548,198円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアループルコース> (毎月分配型)	5,114,733円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	5,056,177円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	4,489,124円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	4,349,768円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4,145,749円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	3,899,063円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,857,128円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,683,862円
米国バンクロン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,517,041円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	3,511,426円
米国バンクロン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3,319,056円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	3,308,438円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	3,156,977円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
米国バンクロン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	2,664,317円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,590,474円
米国バンクロンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,542,269円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	2,308,140円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド (毎月決算型)	2,280,337円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	2,259,287円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	2,016,707円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,609,969円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	1,528,278円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,491,640円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)	1,378,553円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	1,355,335円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	1,193,379円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	1,171,778円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,145,161円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,038,788円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)	1,033,322円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	1,027,136円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	990,662円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	845,131円
PIMCO 米国バンクロンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	796,426円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	792,001円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	734,038円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	667,045円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	642,729円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	640,555円
PIMCO 米国バンクロンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564,702円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	521,466円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	521,457円

三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	490,224円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	379,197円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	358,088円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	354,513円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	345,928円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	305,382円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	284,008円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)	282,290円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	278,281円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	266,153円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	215,434円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	212,322円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	167,632円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	138,394円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	132,542円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	123,415円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)	89,620円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	88,852円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	82,770円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69,757円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	60,179円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	50,073円
テンプレートン新興国小型株ファンド	49,097円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30,649円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	30,438円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	10,814円
バリュエ・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
バリュエ・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュエ・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
合計	1,196,430,567円